

本日の説明内容

1 広島県議会の構成

2 最近の県政の動き

(1) 福山市におけるため池の耐震対策について

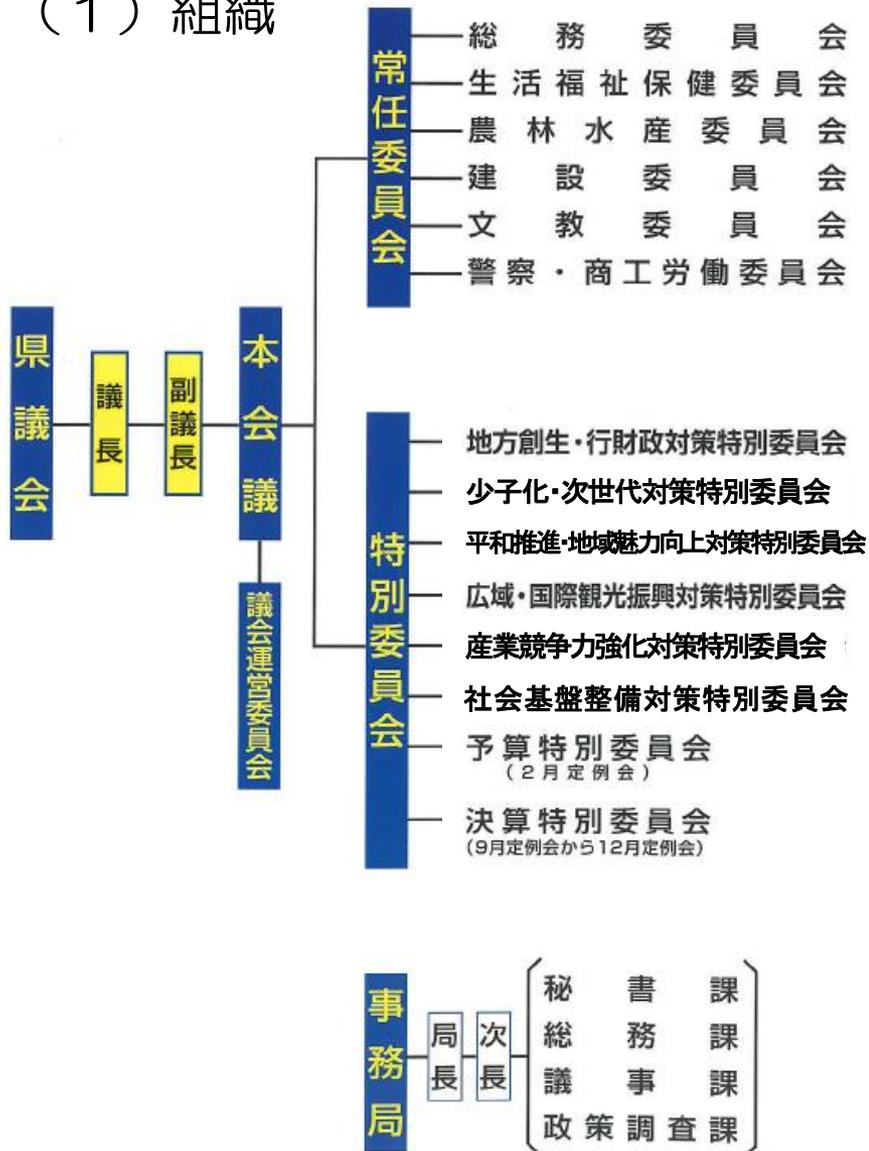
(2) 河川内の堆積土等除去計画について

(3) 自治体の基金の状況・県内における予算措置状況

3 私の活動状況について

広島県議会の構成

(1) 組織



(2) 本会議・委員会

本会議

定例会

2月、6月、9月、12月の4回開会

臨時会

必要に応じて開会

常任委員会

定例会中と、閉会中の毎月1回

特別委員会

必要に応じて開催

予算特別委員会

2月定例会で設置

決算特別委員会

9月定例会で設置

11月まで9回開催し、12月定例会で報告

文教委員会の概要

<調査事件>

- 学校教育の振興
- 生涯学習の振興
- 文化財の保護
- 体育・スポーツの振興
- 私立学校の振興

主要 課題

幼児期から大学・社会人までを見据え、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材の育成

☆広島版「学びの変革」の推進

～児童生徒の「主体的な学び」を促進～

- 課題発見・解決学習の推進
- 異文化協働活動の推進
- 「学びの変革」を先導的に実践する学校（グローバルリーダー育成校）の設置

☆幼児教育の充実

～「遊び 学び 育つひろしまっ子」の育成～

幼稚園・保育所等の教育・保育の充実と、家庭教育支援の充実を図り、「感じる・気付く力」「うごく力」「考える力」「やりぬく力」「人とかかわる力」を育成

☆ものづくり人材育成日本一

県立工業高校等における技能検定や熟練技能者等による指導を通じてものづくりに対する高い「技と心」を育成

☆オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック・パラリンピアンによる出張授業等を実施し、児童生徒のスポーツに対する学びを深め、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進

☆「教師養成塾」を通じた教員の資質向上

小学校教諭を志す学生を対象に実地研修や集合研修を実施し、広島県の教育を担う人材を育成

☆「学びのセーフティネット」構築

経済的事情などに関わらず教育機会へアクセスできる環境の構築に向けた検討

グローバルリーダー育成校(仮称)の設置(H31.4開校予定)

- ・全寮制中高一貫校
- ・生徒数: 中学校1学年40人
高校からは1学年20人の留学生を
海外から受け入れ
- ・問題解決に取り組む「プロジェクト学習」
- ・実践的な英語コミュニケーション力を習得
- ・海外大学へも進学できる国際バカロレア・
ディプロマプログラム

グローバルリーダー育成校(仮称)
～基本設計 イメージパース～



《建設地》大崎上島町大串
敷地面積: 約11ha
《建築費》約50億円
(外構・備品整備費等を除く)



大崎上島町

**「 社会の持続的な平和と発展に向け、世界のどこにおいても、
地域や世界の『より善い未来』を創造できるリーダーを育成 」**

1) 福山市におけるため池の耐震対策について

(平成 28 年 3 月末現在)

	ため池数(箇所)		年度	耐震診断実施			対応方針		
		うち重要ため池(箇所)		A	B	C	耐震工事	管理監視強化	
広島県	19,409	503	H25~H27	46	6	15	25	2	38
福山市	2,188	175	H28	58	8	21	29	検討中	
			H29~H30	71	—	—	—	—	—
			計	175	14	36	54	2	38

○ 耐震診断実施

- A: 健全度が高い 「避難注意」⇒万が一の場合には避難が必要となることを念頭に情報収集・対応にあたる。
- B: 健全度がやや低い 「避難準備」⇒いつでも避難行動ができるよう用意しておく。
- C: 健全度が低い 「避難行動」⇒大規模な地震が発生した場合には、避難行動を起こす。

○ 対応方針

- 2池 耐震工事 : 光林寺池、大池(観音寺下池)の2つの池は耐震工事を実施(H29~)
- 38池 管理監視強化: 維持管理規定を作成し、日頃の点検や低水管理を実施し、管理者や住民にパンフレットなどで周知。

工事概要



施工前



施工後

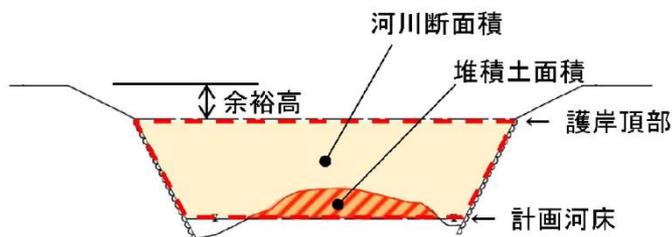
2) 河川内の堆積土等除去計画について

①計画期間 : 平成28年度～平成32年度（5年間）

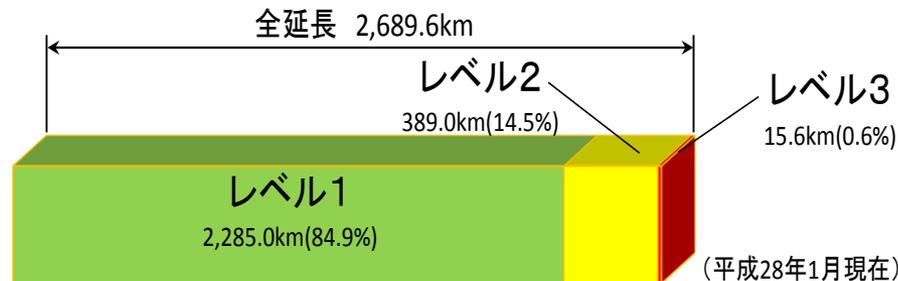
②投資予定額 : 約40億円（「ひろしま川づくり実施計画2016」の投資予定額の内数。）

レベル	巡視・点検の分類	堆積土の状態	樹木の状態(本計画で定義する)
1	変状なし	土砂の堆積が見られない状態	河川内に樹木が見られない状態
	経過観察	阻害率が概ね 15%未満と判断される状態	樹木が見られるが「治水に影響がある状態」※に該当していない状態
2	要対策箇所	阻害率が概ね 15～20%と判断される状態	「治水に影響がある状態」※の①または②に該当
3	対策箇所	阻害率が概ね 20～30%と判断される状態	「治水に影響がある状態」※の①かつ②に該当
	緊急対策箇所	阻害率が概ね 30%以上と判断される状態	倒木などにより、河川断面の大部分が阻害されている状態

※「治水に影響がある状態」 ① 河川横断方向における樹木群の幅が河床幅の4分の1以上
② 河川縦断方向の樹木群の延長が 100m 以上



$$\text{阻害率} = \frac{\text{堆積土面積}}{\text{河川断面積}} \times 100(\%)$$



本計画の成果目標

レベル3を解消し、レベル2の延長を約1割削減する。

3) 自治体の基金の状況について

財務省サイド

- 自治体の基金残高額が平成27年度で21兆円に膨らんだ。地方財政の余裕の表れ ~ 財政制度等審議会(財務大臣の諮問機関)
- 地方創生関連など国の交付金がため込まれ、有効に支出されていない ~ 経済財政諮問会議 民間委員

総務省サイド

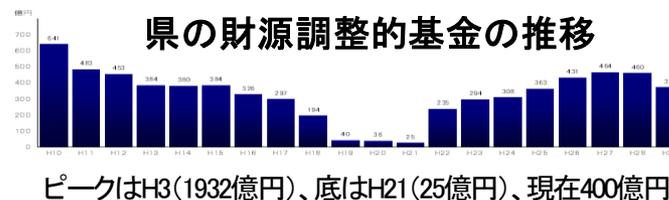
- 個々の自治体の状況を踏まえない、地方財政に余裕があるような議論は不適當 ~ 地方財政審議会(総務大臣の諮問機関)
- 地方が頑張ってお金を貯めたら、余裕があると言われては、やる気を削がれてしまう ~ 全国知事会会長 山田京都府知事

【自治体の基金残高の状況】

全国の自治体の基金残高: 約21兆円 【この10年間で8兆円増加】
 《広島県》 894億円 [H18年度末] → 1,562億円 [H27年度末] 【1.75倍】
 《県内市町計》 1,527億円 [H18年度末] → 2,210億円 [H27年度末] 【1.45倍】

「交付税削減の議論は言語道断」(H29.6.13湯崎知事記者会見)

“基金残高が減った時点を起点にして『増えた』というのは印象操作。地方固有の財源である交付税を減らすという政府内の議論は言語道断“



	2006年度末	2015年度末
広島市	16671	13849
呉市	12799	13856
竹原市	3346	3518
三原市	9620	12022
尾道市	7691	12610
福山市	26217	33963
府中市	1644	3342
三次市	9439	16141
庄原市	5843	7685
大竹市	2430	2475
東広島市	15230	28264
廿日市市	9485	11163
安芸高田市	5808	9373
江田島市	5385	9679
府中町	1133	1566
海田町	1686	2372
熊野町	2814	2792
坂町	2166	4587
安芸太田町	1733	4770
北広島町	994	3966
大崎上島町	4049	6296
世羅町	3665	6056
神石高原町	2884	10739
広島県	89424	156204

広島県内の自治体の基金残高(百万円)

県内における予算措置状況(H28当初予算ベース)

地域区分 人口(人)		県西部 1,987,298	県東部 761,798	県北部 89,398	全県対象分	合計 (全体額)	主な事業
地域政策	予算額(百万円)	2,450	963	202	452	4,068	未来の地域づくり応援 交付金、生活航路の維持 確保対策
	1人当たり(円)	1,233	1,264	2,246	159	1,433	
環境県民	予算額(百万円)	646	333	122	0	1,102	消費者行政活性化事業、 再生可能エネルギー等 導入推進基金事業
	1人当たり(円)	325	437	1,356	0	388	
健康福祉	予算額(百万円)	3,472	1,373	381	42	5,268	小規模保育事業等整備 事業、放課後児童クラブ 事業
	1人当たり(円)	1,747	1,802	4,236	15	1,856	
商工労働	予算額(百万円)	22	11	4	374	513	魅力ある観光地創造・ 発信事業
	1人当たり(円)	11	14	44	132	181	
農林水産	予算額(百万円)	4,335	2,239	1,608	26	8,208	治山激甚災害対策特別 緊急事業、ひろしまの森 づくり事業(交付金)
	1人当たり(円)	2,181	2,939	17,879	9	2,892	
土木建築	予算額(百万円)	18,531	9,084	3,283	0	30,898	砂防事業、河川事業、 道路事業
	1人当たり(円)	9,325	11,924	36,503	0	10,885	
教育委員会	予算額(百万円)	1,358	1,120	124	3	2,605	県立学校の施設・設備な どの整備
	1人当たり(円)	683	1,470	1,379	1	918	

岡崎市 おとがわ プロジェクト

- 街の賑わいを創出するプロジェクトに関して講演

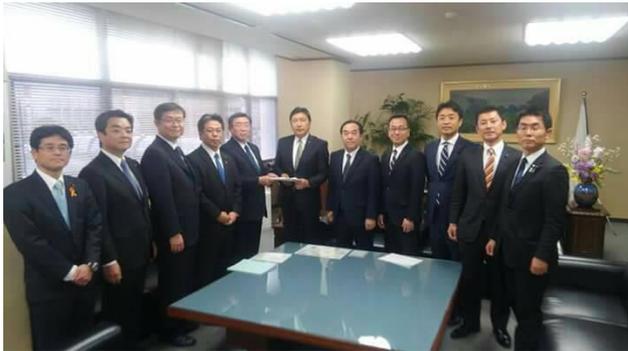
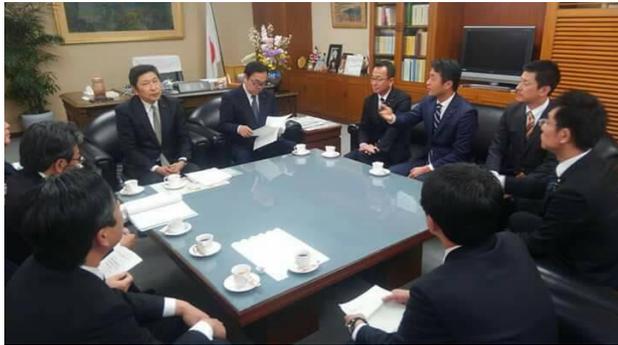


福山市制施行 100周年記念

- 世界に誇れる福山の素材・技術をいかに未来へ繋げるか



1期生による宇田議長に 対して議会改革提言



大前研一氏主催ビジネス ・ブレイクスルー大学院

- ・観光による事業と雇用の
創出についての討論会



少子高齢化 対策講演

- OECD経済協力開発機構
村上所長をお招きし講演会



山本幸三内閣府 特命担当大臣

- Onomichi
U2 視察



新市祇園祭り

小林史明代議士/枝広市長をお招きして



2周年記念 福岡市 フクコン サミット

- 街を活性化させるプロジェクト
- コミュニティーの活用化と活用



繊維産地の継承 のための勉強会



後援会の方々にご協力頂き 新市町内への挨拶まわり

